



統合失調症とくすり

～くすりとつきあうのは、なぜ？～



統合失調症の治療では、薬を長期間飲み続けることが必要です。それは、なぜでしょうか？



病気の種類によって薬の役割が違います

病気の種類	治療の目標	薬の役割
体内に侵入または発生した異物が体にダメージを与えることにより起こる (風邪、胃腸炎、がん 等)	病気の原因である異物の除去と、その影響の解消	異物を除去する 異物によって生じた症状を改善する
体の機能の一部が正常に働かないことにより、健康のバランスが崩れて引き起こされる (高血圧症、糖尿病、 精神疾患 等)	健康のバランスの維持、崩れた機能の回復	崩れた機能を調整することにより症状を改善し、症状悪化を防止する



統合失調症は、ここに当てはまります。



薬を飲むことによって健康のバランスが維持されます

病気の症状が和らぐ

精神療法やリハビリテーションが受けやすくなる



薬をきちんと飲むことは、再発の予防につながります

もし、再発しても…

薬を正しく飲んで再発した場合は、薬をやめて再発した場合に比べて

再発時の症状 → 軽い

入院期間 → 短い

薬の量 → 少ない



薬とうまくつきあって、毎日の生活をよりよいものにしていきたいですね。

